



GAOT
Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第150号 2022年10月発行

巻 頭 言

「作業療法士を知ってみよう」を開催して

広報部 公益事業グループ グループ長

日高病院 中澤浩幸

今年度はコロナ禍の影響から例年対面で行っていた高校生一日体験をオンラインでの「作業療法士を知ってみよう」とし8月9日に開催致しました。参加者は高校生2名、作業療法士5名でした。実施内容としては作業療法士の自己紹介、作業療法のビデオ視聴、作業療法士との対話としました。対話での質問としては①作業療法士を目指そうと思ったきっかけ②作業療法士として一番大変、難しかった内容③作業療法士になる為に今やるべき事・高校の時に勉強しておくべきこと④リハビリを行う患者さんの年代についてでした。今回は高校生が参加しやすいよう顔出しや声出しをしなくても良いことにしていた為チャットで質問して頂き、作業療法士それぞれがお答えする形としました。オンライン開催に対しての高校生の感想としては授業でもオンラインを使用することもあることや人見知りもある為質問しやすいなどオンラインならではの良い点がありました。対面での希望もありましたがコロナ禍の為オンラインでもとのこと意見もありました。

今回初めてオンラインでの開催となりましたがオンラインならではの良い点など学ぶことがあり、作業療法士を目指したいと思う高校生が居ることが何よりも嬉しいことでした。対面での希望もあったことからコロナが落ち着いたら対面での開催を再開したいと思います。少しでも作業療法士を知って、少しでも作業療法士を目指す高校生が増えればと思い、これからも広報活動に取り組んでいきたいと思いました。よりよい広報活動ができますようこれからも皆様のご協力宜しくお願い致します。



特集記事!!

今月号の特集は、当事者による手記の第2弾である。

群馬県立障害者リハビリテーションセンター（以下、センター）の「自立訓練（生活訓練）」を現在も利用されている障害者の方にお話し、リハビリテーションの現場に向けた思いや願いをご本人自らパソコンで記して頂いた（センターの生活訓練とは、障害福祉サービスに該当し、高次脳機能障害に特化しており、生活能力の維持・向上のための訓練）。個人的ではあるが、当事者と支援者が“歩み寄り”、目標を共有することについて改めて考えさせられた。ご本人の意思が反映するように可能な限り原文のまま掲載した。なお、今回の特集に関して、匿名のもとご本人から同意を得ている。センターの自立訓練についてはHP (<http://gunma-reha.jp>) を参照されたい。

群馬県立障害者リハビリテーションセンター 高橋洋輔



Check!

障害の背景と支援の大切さ

私は小学生の頃、小児脳腫瘍の手術後遺症として高次脳機能障害を発症したと考えられています。しかし、診断を受けたのは今年の一月、それまでは体幹障害などの身体障害だけが術後の後遺症だけだと思っていました。その診断を受けた時はショックでした。その時は高次脳機能障害が具体的にどういったものなのかはわからなかったですが、「身体障害もあるのに…さらに増えるのか…」と考えるだけで将来への不安と絶望感に苛まれました。初めて、センターに来たときは「自分と同じ人がいる」と暗い気持ちでいながらも少し高揚したのを覚えています。周りの方々も温かく迎えて下さり、自分でも驚くほど簡単に心情を吐露していきました。自分の気持ちに真摯に寄り添ってくださる作業療法士さんと出会い、だんだんと前を向くことが出来るようになりました。まずは「自分では自分の事があまり分からないこと」を知り、高次脳機能障害について調べてみることにしました。本などでいろんな人の考え方を知り自分の生き方を模索していく中で高次脳機能障害がこんなにも厄介な障害なのにあまり一般的には知られてはいないことを知りました。これを作業療法士さんと患者が協力して広めていく必要があると考えます。作業療法士さんが「寄り添う」「足並みを合わせる」ことをして頂けるだけでどれだけ患者が救われるか。今ならはっきりとわかります。私はこの半年間で支援の大切さに改めて気づかされました。

現在のリハビリ

現在私は仕事をするための体力づくりとしての運動、パソコンを使った文書チェックの練習や自分で教材を買い、隙間時間に脳トレなどをやっています。

リハビリの成果

リハビリも兼ねてセンターの昼食時にお茶の入ったコップを配膳しています。もともと汁物等の配膳は振戦の関係でできませんでしたが、リハビリ等経験を重ねることで、家事の手伝い等が積極的に行えるようになりました。

今後の課題

今後は就職活動に向けて「時間を守る」「しっかりした受け答え」といった基礎的な部分をもう一度見直すとともに「自分に自信をつける」ことを意識していきたいと考えています。



グループワークの様子



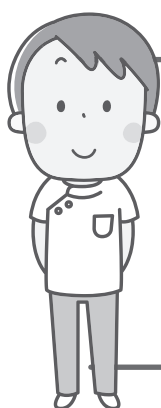
イベント「〇×クイズ大会」

個別週間プログラム（通所利用者）					
A 様		担当		OT	
	月	火	水	木	金
	送迎・受付	送迎・受付		送迎・受付	送迎・受付
10:00	認知トレ	認知トレ	認知トレ	認知トレ	認知トレ
11:30	お茶配り	お茶配り	お茶配り	お茶配り	お茶配り
12:30	昼食・休憩				
③限	車椅子・3輪車練習	グループワーク	自主訓練（運動）	自主訓練（運動）	グループワーク
1:15	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
1:25	PC（検索修正）	運動	PC（検索修正）	就労準備G	学習（PC）
④限	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
2:10	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
2:20	個別訓練	個別訓練	個別訓練	個別訓練	個別訓練
⑤限	個別訓練	個別訓練	個別訓練	個別訓練	個別訓練

生活訓練の一週間プログラム（一例）



屋外訓練場（新設）



担当OTからの一言メモ

ご本人の手記にもある通り、就労を目指されて訓練に一生懸命邁進されています。もちろん、歩み進める中でメンタル的に傷つけられることも多々ある様子が垣間見られました。それでも、ご家族はもちろんのこと、支援者が「寄り添い」、「協業する」中でご本人が再び歩み出そうとしていくその姿に私たちはいつも感動させられます。

これもOTがなせる業の一つなんだと、ご利用者の方に気づかされる日々です。

群馬県作業療法士会 令和4年度第2回理事会議事録

日 時：2022年7月20日(水) 19:00～20:30

Zoom使用でのリモート会議

参加者：新井、関根、山口、柴田、石森、市川、李、今村、小此木、勝野、高坂、長谷川、村井、山浦、唐澤、村田、高橋 17名

I. 会長より

新しい監事を迎え初めての理事会となります。よろしくお願いいたします。

II. 各部議事

1. 教育部[報告者：勝野]

【報告事項】

1) ブロック長会議 コロナウイルス流行のため、メールで臨時審議を実施。6/28、7/11にzoomにてリモート会議実施。

【検討議題】

① 現職者共通研修・選択研修、基礎ポイント研修について 下記の日程で研修会を企画。その他の研修会は現在講師と日程調整中。

「作業療法生涯教育概論」柴田副会長 2022年8月28日 開催予定
「職業倫理」長谷川副事務局長 2022年8月28日 開催予定
「作業療法の可能性」山口副会長 2022年9月7日 開催予定
「実践のための作業療法研究」李理事 2023年1月20日 開催予定
「事例報告と事例研究」近藤OTR 2022年10月5日 開催予定
「基礎ポイント研修 脳卒中上肢機能評価について」近藤OTR他 2022年11月8日・15日 開催予定

「身体障害領域」宮寺OTR、糸井OTR、藤井OTR、石森理事 2022年12月11日 開催予定

② 令和4年度 新人症例発表会

2022年7月24日 開催予定 事例報告49名、事例検討10名の申し込みあり。

③ Peatixについて

オーナーを長谷川副事務局長から教育部の今井へ移行をした。

2) 研修会報告 ※今年度研修はまだ未開催

3) その他 zoomについて

県士会で教育部のアカウントを追加していただき、運用を開始している。今年度の研修会は教育部のアカウントを使用し、全研修をzoomで開催予定。

【審議事項】なし

2. 学術部[報告者：李]

【報告事項】

1) 学術研究グループ

① 22年度学術部勉強会(学会支援企画)に4名の会員がエンターリーした。

② 6名の会員に対して北関東信越ブロック学会への抄録作成を支援した。

2) 学会支援グループ

① 第7回北関東信越ブロック学会、第24回群馬県作業療法学会の運営支援(HP運営、Facebook管理)を行った。

② 第7回北関東信越ブロック学会、第24回群馬県作業療法学会の講師へ公文書発送の支援を行った。

3) 機関誌編集グループ

① 機関誌「ぐんま作業療法研究vol.25 2022」について、論文査読業務継続中。

5編投稿あり、2編は査読終了。3編は査読業務中。

【審議事項】なし

3. 広報部

【報告事項】

1) 公益事業グループ

① 8月9日に高校生を対象にオンラインでの職業体験イベント「作業療法を知ってみよう」を開催予定。

内容としては作業療法に関する動画視聴、作業療法士との対話を予定。県内の高校生宛に案内を発送予定。

2) ニュース編集グループ

① 7月号の発行は印刷段階に入っている。今回は10月号の発行となるので、掲載依頼等ある場合には9月末日を目途にデータの送付をお願いしたい。

② 掲載依頼等が旧連絡先へ届いてしまい、対応が遅れてしまうことがある。今一度、連絡先のご確認をお願いします。

3) 広報企画グループ

① 公益事業Gと合同で、今年度の活動も実施予定。必要な情報収集等を実施していく予定。

【審議事項】なし

4. 地域作業療法推進部[報告者：高坂]

【報告事項】

1) 地域包括ケア推進グループ

① 6月10日に地域包括ケア推進グループの定例会議を実施した。

② 令和4年6月2日に日本作業療法士協会地域包括ケア推進委員会主催のweb研修に高坂理事、山浦理事、真塩部長、山口G長が参加した。

③ 令和4年7月8日にワンポイントアドバイス内容検討会議を開催した。各グループ長、高坂理事、山浦理事、真塩部長、山口G長が参加した。

④ 令和4年8月26日に地域包括ケア推進グループ主催のナイトセミナーを開催予定である。

2) 認知症支援推進グループ

① 令和4年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業の研修会(全2回)はすべてWebで開催する方向で調整している。前橋マリーキュリーの会議室を基地局として講義配信する予定である。

② 7月25日に対面で会議を実施予定である。

③ 第1回研修会のテーマを「認知症の基礎疾患の理解 明日から繋がるより良いケア」、第2回研修会のテーマを「認知症の人が最後まで自分らしく生活するために 地域の活動を目撃!」を仮として設定し、講師依頼や参加者募集等の準備を進めている。

④ 認知症の人の家族の会のつどいに部員が継続的(月1回)に参加し、参加している家族や家族の会スタッフとの意見交換やサービス利用に関する助言等を行っている。

⑤ 2020年度に作成した健康増進のためのワンポイントアドバイスのリーフレット化を他グループと協力して作成していくための準備(原案作り)を始めた。

⑥ 11月26、27日に開催予定の北関東甲信越ブロック学会で当グループのワークショップを出すことが決定した。ワークショップの内容は、今まで取り組んできた活動(研修会企画、家族の会との連携等)を中心に構成する予定である。講師は当グループ員の笹谷朋弘氏に依頼する。

3) 精神科領域推進グループ

① 6/24(金) 19:30～zoomにて第2回会議を実施した。

- ② 北関東甲信越ブロック学会、県学会のワークショップの講師はガーデンタイムの齋藤拓氏とピアサポーターの方の計2名に決定した。7/5に講師との打ち合わせを行い、OTが関わる様々な就労支援の実際をテーマに実践内容の紹介とピア活動当事者の話などをしていただく予定である。
- ③ 生活の質向上のためのワンポイントアドバイスの原案を作成中である。「考え方のクセを知ろう」「人とのつながり・居場所について」をテーマに作成予定となっている。
- ④ ソーシャルバスケットボール・キャラバンについて、前橋社協、こころの健康センター、群精社協、群馬県精神保健福祉協会、群馬社会福祉総合センターへ広報依頼中である。
- ⑤ R4年度群馬県地域自殺対策強化事業に関して群馬県へ交付金申請書類を提出した。
- ⑥ 情報交歓会について、第1回目を8月に実施予定である。話題提供人はグループ員の馬場氏、谷津氏に決定した。
- 4) 発達支援推進グループ[報告者:勝野]
- ① 5月12日(木)、6月10日(金)、6月23日(木)に研修会企画委員会を開催した。
- ② 5月21日(土)に生活の質向上のためのワンポイントアドバイス企画会議を開催した。
- ③ 第1回定期勉強会を6月1日(水) 19:00～20:30オンラインで開催した。内容は群馬県特別支援学校機能強化事業についての説明。講師は北爪浩美氏、六本木温子G長。参加者数30名(県士会員25名、学生2名、PT2名、その他1名)。県士会員の基礎ポイント申請も行った。
- ④ 令和4年9月3日(土) 18:00～20:00に外部講師研修会を開催予定である。講師は酒井 康年氏(うめだ・あけぼの学園／日本作業療法士協会常務理事)、会場:群馬医療福祉大学、開催方法:ハイブリッド形式(感染状況によりオンラインのみでの開催に変更)、研修会テーマ『子どもの暮らしと作業療法～未来を見据えた支援～』、対象:日本作業療法士協会会員および作業療法学生、定員80名(会場参加40名、オンライン40名)、参加費:県士会員・学生は無料、他都道府県士会員2,500円、非都道府県士会員10,000円。
- ⑤ 7月6日(水) 19:00～20:30で定期勉強会を開催した。講師は北爪 浩美氏。テーマは『学校生活を考えた子どもの動作と知覚認知発達の関係～WISC-Ⅳとの関連性を参考にしながら～』参加者数45名(県士会員36名 学生6名 PT3名)
- ⑥ 7月8日(金)地域作業療法推進部ワンポイントアドバイス作成会議に六本木G長が参加した。

【審議事項】

1) 発達領域推進グループ

県教委からの委託事業である外部専門家派遣事業での人材育成急務のため、今年度の定期勉強会・外部講師研修は講師研修を予定している。研修の質を担保するため講師には毎回発表資料および配布作成を依頼しているため講師料をお支払いしたい。また外部講師研修はハイブリッド開催を予定しているため講師料の他に交通費なども発生するため補正予算を申請させていただきたい。(詳細は別紙資料1参照。) → 承認

5. 福利厚生部[報告者:市川]

【報告事項】

- 1) 北関東信越ブロック学会・群馬県作業療法学会について
一般演題の優秀演題賞表彰は二次審査での受賞候補者が決まり次第、優秀演題賞受賞者選定メンバーを検討。11/27(日)のワークショップ終了後に審査を行い、優秀演題賞選定する予定。
- 2) オンライン企画
Zoomを使ったオンライン飲み会を企画し、工程表を作成した。(詳細別紙)

今後詳細な工程含め9月理事会で挙げていく予定。

【検討事項】

1) RFL(リレーフォーライフ)

今年度は10/8(土)にALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドで開催予定。参加についてはどうするかご審議いただきたい。現状の感染状況を鑑みると参加を控えた方がよいのではないかと考えています。 → 参加しない方向で承認

6. 地域局[報告者:今村]

【報告事項】地域局会議ZOOMで行った。

1) 地域局各支部報告

- ① 北中毛ブロック支部[報告者:小此木]
・学会関連の実行委員会と連動して活動
・福祉用具委員会と連携し、榛東、渋川市へあいさつ回りを行った。
- ② 西毛ブロック支部[報告者:山浦]
・第3回医療介護連携フェスティバルin高崎
今年度は寸劇(テーマ:ACP)の動画配信を12月～2月に行う予定。
・あいさつ回り(藤岡市、富岡市、甘楽町、神流町、南牧村、上野村)を福祉用具委員会と連携し行った。
- ③ 東毛ブロック支部[報告者:今村]
・6月19日 桐生市包括支援センターにいきと「脳いき教室」ケアマネからは好評を得る。対面で講師派遣対応 今村理事
・宝泉地区 介護予防教室 7月8日 訪看グラウチア 飯野雄太OT/7月25日 孫の手 今村OT
・伊勢崎市東町 あずまミーティング
10月中旬「独居高齢者への対応(仮)」
訪看グラウチア 中島崇暁OT
・あいさつ回り 明和・千代田・館林・板倉など対応。

【審議事項】なし

7. 第7回北関東信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会[報告者:山口]

【報告事項】

- 1) 運営に向けた準備
- ① 役員会議:随時実施、実行委員会:3回実施(第4回は22/07/27を予定)
- ② 進行:概ね予定通り。他県への共催依頼作業中。29演題(うち6演題が県外)で現在査読中。
- ③ 懸念事項は感染症拡大だが、現状では対面を基本として準備中。
- ④ 養成校連絡協議会によるワークショップ企画と、災害対策委員会による災害準備に関するアンケート企画を新たに追加。
- ⑤ 学会運営の利用書式などのマニュアルの再検討も含め学会支援Gと検討しながら準備を進める。

【審議事項】

- 1) 学会はHPとFacebookで広報。閲覧数を増やすため学会専用のInstagramを開設したい。 → 承認

8. 運転と作業療法特設委員会[報告者:李]

【報告事項】

- 1) 2022年6月18日に群馬県内で自動車運転支援を行っている医療機関とzoomで情報交換会を開催した。
- 2) 2022年7月9日に「ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会」と合同で症例検討会を開催した。
- 3) 2022年7月16日に前橋自動車教習所施設管理者ならびに群馬県指定自動車教習所協会会長と情報交換会を実施した。

【審議事項】なし

9. 養成校連絡協議会[報告者:高坂]

【報告事項】

- 1) 県内4養成校(太田医療技術専門学校、群馬医療福祉大学、群馬大学、前橋医療福祉専門学校)で、学生向けの実習アンケートを行い、結果の集約を終えた。第24回群馬県作業療法学会・第7回北関東甲信越ブロック学会で結果概要を報告できるよう調整を進めている。(別添資料2参照)

【審議事項】

- 1) 養成校連絡協議会の今後の組織内での位置づけについて、他部局のご意見を伺いたい。

① 常設委員会への移行

業務内容の特殊性を考慮し、現行の部署を常設委員会に移行するのがよいか。→ 常設委員会へ移行することで承認

② 臨床実習指導者講習会の開催について

教育部等の他部局に移管するか、現行のまま養成校連絡協議会が行うか。移管する場合、移管先の部局には講師や会場調整など相当な負担がかかることが予想される。

→ 協会は生涯教育の中にとり入れる方向で考えていきたいらしい。

現行のまま行う方向で様子を見ていく。

10. 福祉用具委員会[報告者:石森]

【報告事項】

- 1) 福祉用具相談支援システムの県士会員登録状況

令和4年7月11日において、福祉用具相談支援システムの登録者数は28件、相談件数は0件。

7月発刊のニュースにて、県士会員へ福祉用具相談支援システムお役立ち通信Vol.2を郵送し、登録者数の増加をはかる。

- 2) 福祉用具委員会を設置したことに関する行政への周知について

群馬県作業療法士会に福祉用具委員会が設置されたことの行政への周知について、群馬県内35自治体および関連団体への配布が終了した。

【審議事項】なし

11. 事務局

【報告事項】 報告者:高橋

- 1) 県士会キャッシュカードについて 取得済

実務者として事務局長・副事務局長の2名で届けている。

- 2) 広域代金回収サービス(年会費引き落とし)に関して

フロッピーでのデータ持ち込み廃止により ネットバンキング以前 ¥1,650/月 → ¥5,500/月 年間¥46,200の増額予定でしたが、新たにCD-RWでのデータ持ち込みができるものができた。手数料¥15,000/回 契約済。来年の引き落としに向けて試しの作業を行う予定。

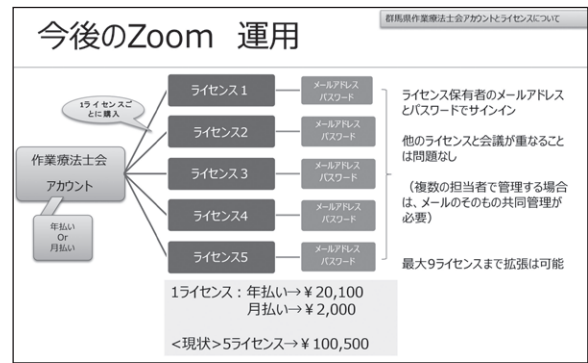
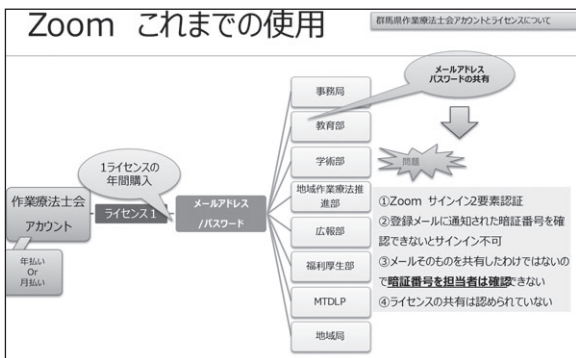
【審議事項】報告者:長谷川

- 1) Zoom使用に関する協議

- ① 今回のZoom使用に関する問題と今後の対応

【Zoomこれまでの使用状況と問題について】

→【今後のZoom運用について①ライセンスの保有】



② 今後のZoom運用について

イベント開催の件数が少ない場合

- 年払いではなく月払いで。
→ 使用しない月に無駄なライセンス料を支払わないで済む
- 別にアカウントを取得する必要がある
→ 複数ライセンスがある場合においては、支払期間を同一にする必要がある
異なる支払いプランを選択できない。全てのライセンスは同じ期間での契約となる
- アカウントの重複取得については問題なし
- アカウントを別に立ち上げると、会計処理は別に

部内会議のみの場合は

- 全ての部署にライセンスの割り当てを行えない。
今年度、外向けのイベントがない部署は、他のサービスや無料版での使用について検討いただく。
次年度については会議の回数、参加人数、を勘案し予算計上を行いライセンスの購入を検討したい
- 別サービスの導入 (別紙)
Google meeting, Microsoft teams, Line meeting, Facebook messenger rooms, BIZMEE
- Zoom無料アカウント内 (40分未満) で実施する

ライセンス割り当てがない場合のZoomの使用

選択① 40分未満の無料版で行う。40分以上の場合は入室し直す

選択② ホスト不在での会議として行う。

【ホスト不在で会議する】

① ライセンス保有者がミーティング予定。URL発行し参加者へ通知

② ホストキーを、該当会議の担当責任者に共有

③ 参加者には待機無しで入室させる

④ 入室後、担当責任者はホストキーを使用してホスト権限を受け取る

⑤ 入室後の入室管理などは会議担当責任者が行う

ホスト不在で会議はできるがその限界は?

<ライセンス保有者>
現時点でライセンス保有者は、部署の担当理事または部長クラス。

<諸問題>

① 保有者が他の管轄外の部署のミーティング予定を代理で入力すること(手回)

② ホスト不在で会議は可能だが、トラブルには対応できない

③ ライセンス保有者が行う事ができる管理はできない

- ・スケジュール調整
- ・ミーティンググループID/URLの通知、
- ・ホストキーの通知

2) ライセンスの割り当て

① Zoom使用希望まとめ

部 署	担当氏名
学術部	李範爽
運転と作業療法特設委員会	
教育部	今井卓也
発達支援グループ	高坂 駿
地域作業療法推進部	
事務局	高橋久美子
MTDLP	佐藤由子
福利厚生	市川亮太
広報部	都丸直樹
地域局	山浦卓哉
	小此木 諭
	今村雄二

② 現在の保有ライセンス:5

2. 教育部
3. MTDLP
4. 地域作業療法推進部
5. 地域局

2~5の4部署は対外的に研修等のイベントを行う部署
 ③ その他の部署におけるライセンスの割当の検討について
 必要な部署についてご意見いただければ幸いです。部門内の会議
 以外に使う予定がない部署については、Zoom無料の範囲または
 他代替サービスへの移行について検討をお願いしたい。

④ 他の代替サービス*

アプリケーション	人数	無料 時間	招待	機能	録画(無料版)	その他 注意
Zoom 無料版	100	40 分	URL	画面共有、挙手機能、チャット	ローカル保存	
microsoft teams	100	60 分	URL	画面共有、挙手機能、チャット	なし	
Google meets	100	60 分	URL	画面共有、チャット	なし	google アカウント
Line meeting	100 人	無制限	アプリ	画面共有、挙手機能、チャット	なし	ラインアプリないと 使用できない 年齢認証が必要
Facebook- Messenger rooms	50 人	無制限	URL	画面共有、挙手機能	なし	ブラウザ Safari は使用不可チャット 機能が実装なし
BIZMEE	6?	無制限	URL	ホワイトボード	なし	登録なし

どのwebサービスを使用するかは担当理事、部長の裁量の範囲で行って良いと思います。

どのwebサービスを使用するかは担当理事、部長の裁量の範囲で行って良いと思います。

【補足:Gmailを利用する場合のご注意】

Gmailのアカウントをユーザー間で共有することは推奨できません。



メールアドレスとパスワードを他人へ教えてログインさせること

<https://support.google.com/a/answer/33330?hl=ja>

本人認証確認、アカウントの一時停止など様々な制約があります。ご注意ください

対応①Gmail アクセス権の付与

対応②Googleグループを利用して共有メールアドレスを作成する

対応③メール自動転送

①~③のいずれかの方法で、ご対応ください

2) 事務員の募集について

事務員募集について→HP上に事務局員の募集掲載を行いました。HPからの問い合わせは今のところありません。

現職の斎藤さんは9月中旬に任期満了での退職となる為、早急に再度通知等の対応が必要です。

3) 謝金(日当)規約

前回理事会で協議いただいた内容にて規約のたたき台を作成しました。(別紙)ご確認いただけますと幸いです。

ご意見などあれば、後日メール等でご教示いただきたいと思います。

【報告事項】

1) 教育部主催研修会のPeatixの管理について

→ 教育部部長へ管理を移行しました。

2) Zoomアカウント管理者について

→ 高橋事務局長から長谷川へ変更手続きします。

3) Paypal登録について

→ 申請書類提出済み。7月中にはフォームが稼働する予定。

4) 事務員募集HP掲載しました。

5) 休会制度の規約について高橋事務局長から照会がありました。

→ 次回の理事会にて提出

PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー

リハノメとは

「リハノメ」はPT・OT・STのための、
どこでも学べるオンラインセミナーサービスです。
臨床に悩むPT・OT・STのために、
各分野の専門家が臨床経験や研究成果に
基づいた知識・技術をお届けいたします。

どこでも
学べる

日本最大の
講師数

オフライン
再生対応

POINT 5

定額見放題

31
配信スケジュール
随時公開

1ヶ月見放題プラン

通常料金 3,080円が初回限定で...

980円 (税込)

お申込はこちら

**豪華講師陣が
登壇!**

作業療法士 / 山梨リハビリテーション病院
リハビリテーション部 副部長 兼
作業療法課長
山本 伸一 先生

作業療法士 / 目白大学保健医療学部
作業療法学科 准教授
佐藤 彰紘 先生

法人様向けプランも
ご用意しております

株式会社 **gene** ジーン

seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611

〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1丁目 26-12 IKKO 新栄ビル 6階

ケアスタッフ、看護士向け
オンラインセミナー

**リハノメ
HPは
こちら**

第13回 ぐんま高次脳機能障害 リハビリテーション講習会

◆会場研修 2022年12月18日(日) 13:00~15:35

於：群馬県社会福祉総合センター ※50名限定（当事者・家族優先）12:30～受付開始

◆YouTube配信 2023年1月7日(土)～1月15日(日)まで

*この講演会は一般社団法人日本損害保険協会の助成を受けて実施致します。

高次脳機能障害との向き合い方

～当事者・家族・支援者の視点から～

1. 講演

『群馬県内の高次脳機能障害施策及び実態調査』

講師：群馬県健康福祉部 障害政策課精神保健室担当者

2. 基調講演

『当事者・家族の心理』

講師：長沼亨 先生（南魚沼市立ゆきぐに大和病院 公認心理師（臨床心理士））

3. 当事者対談

『当事者の立場からの思いを知る』

アドバイザー：宮永和夫先生

（南魚沼市立ゆきぐに大和病院精神科医、精神保健指定医、日本老年精神医学会専門医）

4. パネルディスカッション

『高次脳機能障害との向き合い方

～当事者・家族・支援者の視点から～』

登壇者：宮永和夫先生・長沼亨先生・支援者・家族

本講習会は、新型コロナウイルス感染対策のため、会場講演と、その録画映像をYouTube配信するハイブリット形式といたします。

お申込み、聴講方法の詳細は裏面をご覧ください。



■主催：ぐんま高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会

■後援：群馬県 上毛新聞社 群馬県医療ソーシャルワーカー協会

群馬県精神保健福祉士会 高次脳機能障害者と家族と支援者の会 NPO法人ノーサイド

第13回 ぐんま高次脳機能障害 リハビリテーション講習会

◆ お申込みは電話 または オンラインで ◆

★会場聴講の方は電話でお申込みください

☎ 申込み連絡、お問合せ ※50名限定（当事者・家族優先）

➡ NPO法人ノーサイド **080-3419-6233**



★オンライン聴講の方はQRコードからお申込みください

・QRコードから申込みサイトに必要事項を入力して申込み（申込み〆切2022年11月18日）
入力したメールアドレスに申込み確認メールが届きます

・2022年12月18日(日)、会場研修開催・収録
※感染状況により、会場研修は中止の場合もございます



申込みフォーム
<https://forms.gle/G4rWuPrGpx1W6YgK9>

・YouTube配信開始3日前にリマインドールが届きます（視聴用URL、PW添付）

・2023年1月7日(土)～1月15日(日)、研修内容をYouTube配信

・アンケートにご協力ください
（2023年1月20日まで必須）

ご利用の通信環境や通信回線の状態により、
映像や音声途切れる可能性も考えられます。
事前にお申込み頂き、やむを得ない事情で
ご視聴になれなかった方は、ご連絡下さい。

12 December 2022 (日祝+祝)						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1 January 2023 (日祝+祝)						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

★講師ご紹介

宮永和夫先生

現)：南魚沼市立ゆきぐに大和病院精神科医、精神保健指定医、日本老年精神医学会専門医、NPO法人ノーサイド顧問

若年認知症に関する多数の書籍を執筆。

認知症や高次脳機能障害などの器質精神障害の臨床に関わり、医療と共に生活の支援の必要性を提唱されています。

長沼亨先生

南魚沼市立ゆきぐに大和病院 公認心理師（臨床心理士）

心理士として高次脳機能障害の検査・評価、環境調整、心理的ケアの提案に加え、当事者の社会参加や居場所づくりのために、地域の関係機関との連携にも尽力されています。

高次脳機能障害の支援のあり方と、実際に現場に足を運ぶ実践について、ご講演いただきます。

■主催：ぐんま高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会

精神障がい者バスケットボール交流会に参加して

群馬県作業療法士会 学生会員 吉田 鮎香(群馬医療福祉大学)

8月7日に、ヤマト市民体育館前橋のサブコートで開催された「精神障がい者バスケットボール交流会 ソーシャルバスケットボールキャラバン2022 - 2023」に参加しました。

交流会では、3時間という短い時間の中で、ライトニングバスケットボールクラブのコーチのご指導の下、ウォームアップを行い、その後、2チームに分かれてゲームや、フリースロー大会を行いました。障害の有無を問わず、小学生から大人まで幅広い世代の方々が参加していましたが、とても白熱し、みんな笑顔で、楽しい空間がそこにはありました。

普段、運動をあまりしていなかった私には、かなりハードな面もありましたが、激しい運動のキツさよりも、参加者の方々とバスケットボールを通して、交流できた楽しさの方が上回り、あっという間に時間が過ぎていました。新型コロナウィルスの感染が再拡大している世の中ではありますが、このような交流会が無事に開催され、参加者全員が楽しんでいる様子に、久しぶりに心癒されました。

今回、私自身、ソーシャルバスケットボールというものを、初めて知りましたが、ソーシャルバスケットボールは、障害の有無や世代を問わず、交流できる素晴らしいものだなと感じました。また、ソーシャルバスケットボールがさらに発展し、広まるべきだと感じました。日本では、障害への理解がまだまだ得られにくい状況にあります。このような活動が広まり、様々な人が生きやすくなることを望みます。楽しく、貴重な経験をありがとうございました。



日本ソーシャルバスケットボール協会:『ソーシャルバスケットボールキャラバン2022-23 群馬ラウンド』レポート
<<https://jsba-official.com/caravan22-gunma-notice/>>より転載

詳細はコチラから



老年病研究所附属病院

老年病研究所附属病院は前橋市西部に位置し、道1本で東は前橋の中心市街地、西は高崎イオンへと続いており、また、新前橋駅や関越道前橋インターチェンジにも近く、大変便利な環境にあります。

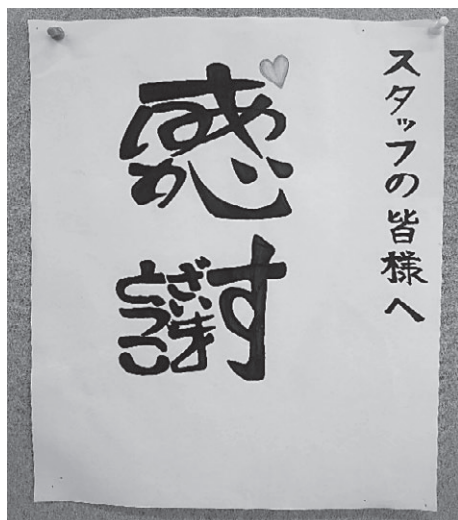
「老年病」とのフレーズから高齢者に特化した病院と誤解する方もいらっしゃると思いますが、当院は子供から高齢者まで、あらゆる年齢層を受け入れ対応しています。昭和56年の開設から、診療科目・病床数は徐々に拡大され、現在は脳神経内科・脳神経外科・整形外科・内科・歯科・眼科などを有し、急性期病棟139床、回復期病棟56床・58床の合計253床、救急車受け入れ年間約2,000件超の救急告示病院です。

リハビリテーション部は群馬県内では比較的早期、平成元年に理学療法・作業療法が開設されました。スタッフ数は徐々に増え、現在PT・OT・ST総勢90余名。うちOTは37名在籍しています。人数が多いなかでも、病棟担当制をとっているため、担当病棟内のPT・OT・ST間の距離は近く、担当間でのコミュニケーションはスムーズです。各スタッフの経験年数やバックグラウンドも幅広く、ピカピカの新人さんから子育て真っ只中のスタッフまで、皆で協力しながら業務を行っています。

部門としても急性期から回復期・生活期までのあらゆる時期の患者さまへのリハサービスを提供。脳血管疾患や整形外科疾患の患者様の占める割合が多く、次いで神経筋疾患や内科系の疾患となっています。入院リハはもとより、外来リハや訪問看護ステーションからの訪問リハも行っているため、発症直後に担当した患者様の元気になった姿に、後日会えることも多く、私たちの大きな喜びのひとつにもなっています。また、県内でも比較的早期にドライブシミュレーターを導入し、OT部門では、自動車教習所とも連携を図りながら自動車運転再開にも力を入れています。

また、地域貢献の一つとして、前橋地域リハビリテーション広域支援センターを受諾し(前橋市内の病院・事業所のリハビリスタッフさんにはいつも大変お世話になっております)、出張講座や実地指導、体力測定などで、リハ関連施設の職員や地域住民の方々とお会いしての事業も多く行っています。近年のコロナ禍により、オンラインでの講座や動画撮影・配信などのIT化も急激にすすみました。配信している動画もかなりの力作ですので、前橋地域リハビリテーション広域支援センターのHPからぜひご覧ください！

老年病研究所附属病院は、これからも地域包括ケアシステムを支えるべく精進していきます。どうぞよろしくお願いします。



前橋地域リハビリテーション
広域支援センター リハビリ動画



訪問看護ステーション 花あかりで働くPT・OTを大募集!!

職員の産休に伴いリハビリスタッフを増員!女性セラピストを積極採用!
訪問看護ステーション花あかりでは、看護とリハビリが連携しながらきめ細やかな在宅支援を行っています。生活に必要な医療保険・介護保険のリハビリに加え、自費リハビリや保険外のサービスまで、かゆい所に手が届くサービス事業所を目指しています。現在、看護師8名、PT・OT6名の14名体制(男性3名、女性11名)で桐生市を中心に幅広く訪問看護を展開しています。

花あかりでは子育て中の女性職員、女性セラピストも活躍中です!経験年数の浅い方も大歓迎!リスク管理、症状のとらえ方、フィジカルアセスメントまで経験豊富なスタッフが優しく教えます!アットホームな雰囲気看護とリハビリも和気あいあいです。見学・面接は随時行っていますので、お気軽にお電話ください。

訪問に興味があるセラピストの皆さん、是非一緒に働きませんか?

- ◎募 集 理学療法士、作業療法士
- ◎勤務形態 正社員(非常勤は要相談)
- ◎勤務時間 8:30~17:30、週休2日、年末年始
- ◎給 与 年俸380~450万円(経験加算あり、各種手当別途、各種認定資格保持者優遇します)

訪問看護ステーション花あかり

〒376-0121

群馬県桐生市新里町新川715-11

ファミリアイマエ号室

TEL:080-3003-0724

採用担当:村井まで、「ニュース求人
をみました」とご連絡ください



投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や
日常業務で工夫している点、こんな研修会に
参加した…などなど、皆様からの投稿を
募集しております。

どんなことでも構いませんので、
お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: koha.yuu@yahoo.ne.jp

広報部・ニュース編集グループ

反町拓海

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

編集後記

今号では群馬県立障害者リハビリテーションセンターの高橋先生にご協力頂き、施設利用者さまの手記を掲載させて頂きました。実際に作業療法を通して関わっている方の生の声を聴けるというのは大きな機会かと思います。高橋先生、執筆頂いた方のご協力に感謝申し上げます。

S



群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 関 仁紀、下田 幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅 印刷 || 星野印刷株式会社